

学習環境規模適正化推進により目指したい「学びの質」 (案)

No	項 目	め ざ す 姿	選 択
1	○子どもたちの義務教育 9年間を見通した教育 のしくみの導入	○子どもや家庭・地域の実態を踏まえた教育 目標等の設定・共有（小中全教職員） ○子どもたちの成長実態に即した学年区切 りの研究、教育目標実現のための進捗把 握・改善	[選]「小中一貫教育」 ○教育目標、学年区切り（ステージ）毎の目標、目指す子ども像、育みたい資質・ 能力、等の設定と共有（学校・地域・家庭） [選]学年区切り「4・3・2制」等の研究 ○発達段階に即した学年区切りを活かす教育課程編制 ○学年区切りを踏まえた学校行事の実施 等
2	○子どもたちの学びの系 統性・指導の一貫性・ 成長の連続性を重視し た教育課程編制	○学校運営の一貫性・指導の系統性・育ち の連続性を確保した小中一貫教育カリキ ュラムに基づく教育活動の推進 ○独自カリキュラムの創設	[選]学び・指導・成長の「系統性・一貫性・連続性」をより重視した教育課程編成 [選]独自カリキュラムの創設 ○小中一貫教育カリキュラム作成（学びの系統性・指導の一貫性担保） 9年間を見通した教育課程の計画・推進 G I G Aスクール推進 ○独自カリキュラムの創設（特色ある教育の推進と自己有用感の醸成） （地域学・外国語・SDGs・キャリア形成・ICT活用・体験学習 等）
3	○就学前教育・高等教育 との連携強化	○就学前教育と義務教育の円滑な接続 ○高等教育との連携	[選]就学前教育・高等教育との連携強化「0歳～15歳までの一貫した教育」推進 ○「アプローチカリキュラム」・「スタートカリキュラム」推進 ○プログラミング教育、ICT活用推進等
4	○多様な学び方への対応	○一定の児童生徒集団規模確保 （小）教科担任制推進（小5～小6） （中）学習内容の高度化・専門化への対応 （共）外国語・英語、ICT、体験学習等	[選]一定の集団規模確保、多様な学び方への選択肢確保（生活・学びの集団規模） ○一定の集団規模確保（横集団：学年2学級以上、縦集団：9年間一体） ○個別、小集団、中・大集団 等 多様な学び方を可能にする集団確保 主体的・対話的・深い学び、協働的な学び・個別最適化された学びの確保 ○地域の自然、歴史、産業・職業等を地域に学ぶ体験学習 等
5	○子どもたちの安全・安 心の維持・確保	○教職員集団規模の確保と協働体制確立 情報交換、情報共有の迅速化・円滑化 多面的な評価視点の確保 ○教員が子どもと向き合えるゆとりの確保	[選]子どもの安全・安心をきめ細かく支援できる教職員集団規模の確保 ○多様な生活課題への対応（いじめ・不登校・問題行動 等） ○子どもたちの多様化への対応 ○学校業務の見直し、教職員の協働体制 等
6	○部活動（中学校）	○部活動の選択肢確保 ○部活動所属部員の確保	[選]外部指導者活用拡充・部活動合同設置等の検討 ○国・県と連動した部活動運営の検討・推進

※ 目指したい「学びの質」を支える体制・環境整備

No	項 目	め ざ す 姿	選 択
1	○教職員の資質向上	○学校における働き方改革推進 ○活力ある教職員集団 多様な教育課題への組織的対応	[選]学校の働き方改革推進（活力ある学校づくり） ○学校業務の見直し、家庭・地域との連携強化 ○教員が子どもと向き合う時間の確保 ○教職員の研修・研鑽に関する時間確保
2	○学校運営支援	○学校・家庭・地域の連携強化 円滑な情報交換、情報提供の促進	[選]学校運営協議会（コミュニティースクール）検討 ○学校運営に係る課題への支援 ○地域人材の活用促進、迅速な課題解決 登下校の安全確保、子どもの地域行事や地域課題への参画促進 等
3	○学校施設の整備 ○既存施設の有効活用	○多様な学び方を可能にする施設環境整備	[選]教育施設の集約化と整備促進（改築・長寿命化）